

はじめに

このたびは、カワラLPガス用可変型自動切替調整器をお買上げいただき誠にありがとうございました。この取扱説明書は、製品説明・安全のために・設置工事・維持管理・製品保証の順に作成してあります。

お客様にLPガスを安全に・快適に使用していただくため、液化石油ガス法・省令補完基準・設備士ハンドブック等遵守するほか、この取扱説明書を良く読んでLPガス設備の安全を図ってください。

なお、この取扱説明書で・や・を付してありますが、・は禁止、・は警告又は注意を表したものです。

1

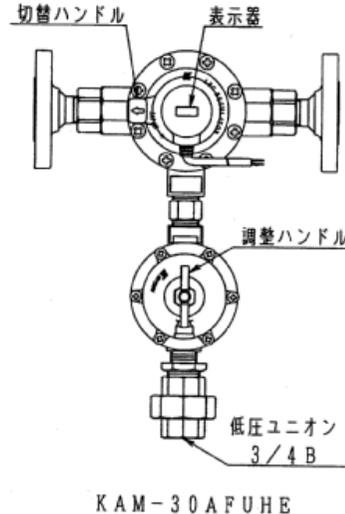
製品説明

液化石油ガス用可変型自動切替調整器（以下、調整器と呼びます）は、工業用・業務用のバーナーに使用できる出口圧力が20～60kPaの範囲内で自由に調整できます。従って所定の圧力に設定して（二次側ハンドル）ご使用下さい。

・製品には、検査成績書を同梱してありますのでご確認ください、

仕様及び各部の名称

型 式	KAM-30AU	KAM-30AFU	
容 量	30kg/h		
入口圧力	0.2～1.56MPa		
出口圧力	20～60kPa		
入口側接続	Rc1/2ネジ	20k 15A フランジ	
出口側接続	Rc3/4（ユニオン）		
面 間 寸 法	180mm	250mm	
発信機能部仕様	発信機能付	HE	HEK
	接 点 構 成	無電圧a接点 表示器が白→OFF 表示器が赤→ON	
		無保持	自己保持
	最大使用電圧	DC30V以下	
	最大開閉電流	0.3A	
	最大開閉容量	10W	
	接点間耐圧	DC150V, 1分間 リーク電流1mA以下	
	絶縁抵抗	5MΩ以上(DC500V 時)	
	接点抵抗	2Ω以下(接点ON時)	
	接点耐久性	2000回(DC24V, 0.2A)	
付属ケーブル	OPVCTF(0.5mm ²)2芯		



2

安全のために

- ・この製品は、LPガス専用の調整器です、LPガス以外に使用すると機能が損なわれる恐れがありますので他の用途には使用しないでください。
- ・調整器は、工場で精密に組み付けたものです。分解・改造するとガス漏れ等による事故発生の原因となりますので絶対に改造しないでください。
- ・この製品は衝撃を受けるとガス漏れ等の事故につながる恐れがありますので、絶対に叩いたり、物を当てたり、重い物を落としたりして衝撃を与えないでください。

- ・落雷や落下物などにより損傷の恐れのある場所、また長時間直射日光にさらされる場所に設置する場合は、収納庫などで適切に防護してください。
- ・発信機能付調整器を容器庫等の防爆上の「危険場所」に設置する場合は別売りの「HEC-1」が必要となります。
- ・発信機能付調整器の付属ケーブルを極端に延長した場合、ケーブルの線間浮遊容量により接点をいためることがあります。
- ・発信機能付調整器の接点部に使用規定以上の電圧、電流を加えた場合及びサージ電圧（誘導負荷）、突入電流（ランプ負荷）等の著しく発生する負荷を接続した場合は接点部が破損することがあります。

3

設置工事

- ・調整器の取付工事は液化石油ガス設備士自らが施行してください。
- ・火気に近い場所、炎や輻射熱を受ける場所には設置しないでください。
- ・調整器は、有害ガス（例：アンモニア、亜硫酸ガス等）の影響を受ける恐れのある場所には設置しないでください。
- ・接続するフランジは、同一梱包のフランジパッキン、ボルト、ナット、バネ座金を使用し、片締めにならないように均一に締め付けて下さい。また、フランジパッキンには必ず液状のガスケット（スリーボンド1215推奨）を塗布して下さい。漏れを防ぐためです。塗布する際は、ガスケットをふでに取り、配管内に入らないように注意しながら均一に薄く表面に塗ってください。
- ・調整器のフランジのボルト穴と高圧集合管のフランジのボルト穴が合うように高圧集合管の位置を決め、調整器のフランジを回すことのないようご注意ください。
- ・入口接続がねじ接続のものは専用のアダプター（別売り）を使用して、高圧集合管に適切な力でねじ込んでください。その際、ねじの先端2山を残してガス用シールテープ（又はガス用シール剤塗布）を巻いて締め付けてください。シール剤が管路中に浸入しないように注意してください。
- ・調整器を配管等に接続する際には、ガス漏れ等の発生を防ぐため、ねじ部の切粉、切削油、ゴミ等の異物を完全に除去してください。
- ・調整器は、垂直に取付け出口配管部には必ずドレン抜きを設けてください。

発信機能付調整器をご使用の場合は以下の方法で配線を行ってください。

- ・付属ケーブルは、「宅内電装装置」・「中継装置」(HEC-1)等に配線します。接続する端子はお使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。発信機能付調整器の付属ケーブルには極性がありません。
- ・付属ケーブルの長さは2mです。延長の必要がある場合は別売りのケーブルを使用し以下の手順で結線してください。
 - a) 付属ケーブルと延長ケーブルの色を同色に合わせて、先端をそろえ一緒にねじり閉端接続子で圧着する。
 - b) ケーブルが確実に結線されている事を軽く引張って確認する。
 - c) 閉端接続子及びコードと外被に防水用処理剤（スリーボンド1208C等）を充填する。
 - d) 自己融着テープにより、閉端接続子及びケーブルを数回巻く。

<使用前の点検>

- 調整器の取付工事終了時には、必ず液化石油ガス法で定められたガス配管の気密試験を実施し、漏れないことを確認してください。
- 周囲に火気のないことを確認した後、配管内のエアパージを行ってください。
- 1つの燃焼機具でガスを燃焼させながら使用側の容器弁を閉じてガス供給を停止させた時、表示器が赤色になること及び予備側から自動的にガス供給されることを交互に切替ハンドルを操作し、調整器の自動切替機能が正常であることを確認してください。

発信機能付調整器の場合は、上記点検において使用側からガス供給をしているとき、接点がOFF（ケーブル両端間の抵抗が1MΩ以上）であること。予備側からのガス供給が始まり表示器が赤色になったとき、接点がON（ケーブル両端間の抵抗が2Ω以下）になることを確認してください。

- この調整器の調整圧力範囲は、仕様及び各部の名称に示してある範囲内です。二次側の調整ハンドルを時計方向に回すと圧力が上がります。ご使用の燃焼機具の適切な圧力に調整してください。

4

維持管理

- 容器の交換は、切替ハンドルを180°回転させ表示器が白色になったことを確認し、高圧集合管のバルブを閉めてから空容器を外してください。
- 容器交換終了時には、切替ハンドルの位置、使用側、予備側の表示が正常であることを確認した後、調整器、高圧集合管、高圧ホース、容器等の接続部からガスの漏れがないことを検知液等を用いて確認してください。
- 安全のために調整器、容器等の周囲に物を積み上げないでください。
- 容器用弁に高圧ホースを連結したまま、容器を無理に動かして位置合わせすることは、ガス漏れの原因になりますので、絶対にしないでください。
- 調整器は製造後7年経過したものは、性能低下が予測されますので交換期限までに必ず新品と交換してください。

5

製品保証

メーカー保証

本取扱説明書に基づく正常な使用状態で材質上・製造上、製品に万一不具合が生じた場合は、製造後1年以内の期間に限り、無償で修理又は新品との交換を致します。

免責

次の場合は、製品の無償修理・交換及び保険の適用はできません。

- 風水害、地震等の天災や不可抗力による場合
- 故意又は不注意により、故障等を生じた場合
- 分解・改造・衝撃等により、故障を生じた場合
- その他製造者の責任とは認められない場合



105070109-04

0709

LPガス用

可変型自動切替調整器

KAM-30A

取扱説明書

製造元・販売元

株式会社 桂精機製作所

本社 〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町1番地1

TEL (045)461-2334 (代表)